



# 蒸散抑制成分で作物の重金属蓄積を抑制！

## — 特許 JP7730131B —

「蒸散抑制成分による植物の重金属蓄積抑制方法」

### ■ 背景課題

地殻変動に伴い、作物が土壌中のヒ素やカドミウムなどの重金属ストレスにさらされています。従来の土壌改良や除去植物を使った方法が中心であり、時間がかかる課題がありました。本技術は植物自身の蒸散プロセスに着目した新しいアプローチです。

### ■ 技術の概要

特許 JP7730131B

は、蒸散抑制成分を植物体に適用

- 植物の水分放出を制御することで、地上部や可食部への重金属移動を抑制
- 組成物の表面張力：45 ダイン/cm 以下
- 蒸散抑制成分は固着性展着成分
- **重金属蓄積を国際基準値以下に抑制も可能！**

### ■ 技術の仕組み

[土壌中のヒ素・カドミウム]

↓  
[根から吸収]

↓  
[植物体内で蒸散による水分移動]

↓  
[通地上部／可食部に蓄積]

← 蒸散抑制成分による抑制

### ■ 技術導入のメリット

- ✓ 蒸散制御による直接抑制
- ✓ 葉面散布・灌注による蒸散抑制
- ✓ **土壌・作物への影響が小さい！**
- ✓ 持続可能な生産技術として展開可能

 **導入をご検討ください**

高温乾燥条件下でも「生き生きとした作物」を実現。  
持続可能な農業のための新しい「蒸散マネジメント技術」です。